

令和6年度野生鳥獣（イノシシ・ニホンジカ・ニホンザル）生息動態調査業務実施要領

1 目的

本業務は、イノシシ、ニホンジカ及びニホンザルの生息状況の動向等を調査することにより、地域の状況に応じた効率的な捕獲と防除を実施するための資料及び第二種特定鳥獣管理計画の資料の作成を目的とする。

2 履行期間 契約日から令和7年3月31日まで

3 業務内容

(1) イノシシ

ア 生息密度指標調査

府が収集した狩猟捕獲に係る出猟カレンダー情報を解析し、銃猟 SPUE 値、銃猟 CPUE 値、くくりわな CPUE 値及び箱わな CPUE 値を算出する。

【解析項目】

銃猟 SPUE 値	銃猟における単位努力量あたりの目撃数
銃猟 CPUE 値	銃猟における単位努力量あたりの捕獲数
くくりわな CPUE 値	くくりわな猟における単位努力量あたりの捕獲数
箱わな CPUE 値	箱わな（捕獲柵含む）における単位努力量あたりの捕獲数

イ 分布・被害状況等調査

捕獲結果、農作物被害及び生息密度指標等のデータをメッシュ単位で図示する。併せて、各情報を重ね合わせることで、被害を受けている区域とその対策状況を可視化する。

(2) ニホンジカ

ア 生息密度指標調査

府が収集した狩猟捕獲に係る出猟カレンダー情報を解析し、銃猟 SPUE 値、銃猟 CPUE 値、くくりわな CPUE 値及び箱わな CPUE 値を算出する。

【解析項目】

銃猟 SPUE 値	銃猟における単位努力量あたりの目撃数
銃猟 CPUE 値	銃猟における単位努力量あたりの捕獲数
くくりわな CPUE 値	くくりわな猟における単位努力量あたりの捕獲数
箱わな CPUE 値	箱わな（捕獲柵含む）における単位努力量あたりの捕獲数

イ 生息数推定及び将来予測

エゾジカ管理のために作成されたシミュレーションプログラム (Matuda et al. 1999) を基に密度指標や府が別途発注している糞塊密度調査の結果を参考にしながら、生息数又は捕獲数

の推移を以下の2パターンで作成する。

- ① 令和6年度以降の捕獲を令和5年度と同様とした場合
- ② 令和2年度の生息数を令和8年度に半減させる場合

(3) ニホンザル

ア 集落代表者アンケートの実施

府内全域の被害状況及び被害対策状況を把握するため、集落代表者を対象としたアンケート調査を実施し、結果の集計を行う。

イ アンケートの集計結果と府が別途発注している生息状況調査の結果を参考にしながら被害状況の解析を行う。

(4) 共通

ア 第二種特定鳥獣管理計画関係資料作成及び会議等出席

第二種特定鳥獣管理計画（イノシシ、ニホンジカ及びニホンザル）の令和7年度年度別事業実施計画作成に当たり、既存図表の更新とそれに合わせた文言の修正を行うとともに、専門家会議及び検討会に参加する。

イ 調査報告書作成

調査結果等を集約の上、報告書を作成すること。

なお、その内容については、事前に農林水産部農村振興課と協議すること。

提出方法：A4版冊子2部 及び 電子データ

4 報告

受託者は、着手届（第1号様式）を契約締結後7日以内に提出し業務に着手するものとする。業務着手後は、調査主任届（第2号様式）とその必要書類を遅滞なく知事に提出することとする。また、受託者は、調査結果等を集約の上、調査報告書を作成し、業務完了報告書（第3号様式）とともに、令和7年3月31日（月）までに提出することとする。

6 提出先

各様式の提出及び報告先は京都府農林水産部農村振興課とする。